

AUGUST



## おかむら通信 184号

令和2年8月号

### <ご挨拶>

こんにちは、みなさん、これから真夏にはいっていくなかで、コロナ感染症と経済的な苦難もあわせて戦っていかねばならないのは、おたがい大変ですね。難しいかもしれませんが、めげずに、負けずに、愛する気持ちをなくさずに、生きていきましょう。また油断も禁物です。

### <今月の言葉>

道は必ず開けます。光のなかの明るい世界にいる世界のみんなとともに、けっして負けません。

院長



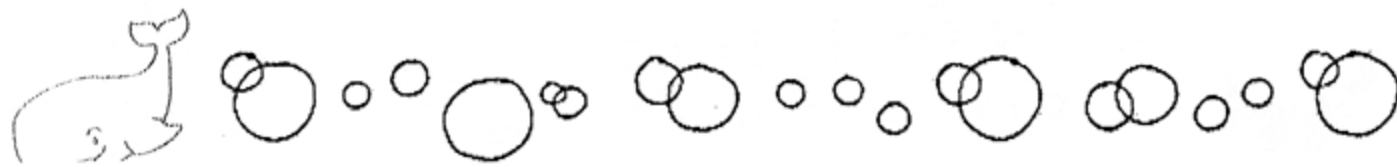
### \*院長より

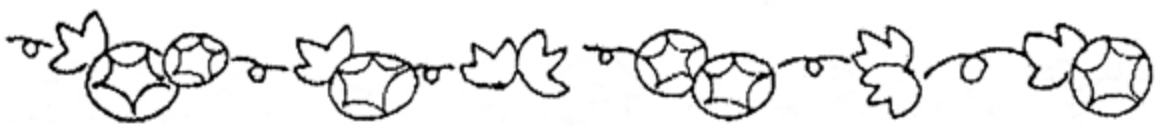
1 精神的にまいっている患者さんが、増えました。病状はこのコロナ関連による環境の変化などが影響しています。統合失調病、パニック障害、不安症、神経症、アルコール依存、その他アスペルガー症候群、発達障害、うつ状態からうつ病へ、不安定化する自閉症、、一見なんともないようにみえて、心の中で、よくも悪くもかなりの葛藤を繰り返している、、などです。

院長が対処できるものなら応急的に対処し、病院紹介することになります。評判のよろしい病院の一つは、千葉県内で近いところは船橋北病院かな、、

2 岡村庸介先生が4月から常勤に加わり、1週間の診療幅がひろがり、月曜から土曜日まで、午前午後医師が勤務している態勢となりました。しかし、いまのところ、木曜日は外来なしの検査のみ（全身CT・大腸ファイバー・胃カメラ・エコーなど）となります。

3 院長が、この岡村胃腸科外科（実はこの名前は、なんら診療対象が胃腸、外科に限られてはおらず、たとえば、麻酔科・小児の急病・脳梗塞・喘息・肺癌・冠動脈疾患、下肢動脈閉塞、、の診断治療がふくみます。）で、25年余の間、絶対に、いのちをおとさせない、後悔させない、としてきたのは、①脳梗塞、脳卒中 ②心筋梗塞などによる心不全 ③喫煙による肺気腫から呼吸不全 ④かくれた腎機能不全を早く見つける ⑤かくれた慢性膵炎をみつけ、膵がんはできるだけ早期に見つけ、、⑥潰瘍性大腸炎をはやくみつけ、よく治療し、ミセラブルな病態にさせない。⑦発がん、急死を可能な限り防ごう。



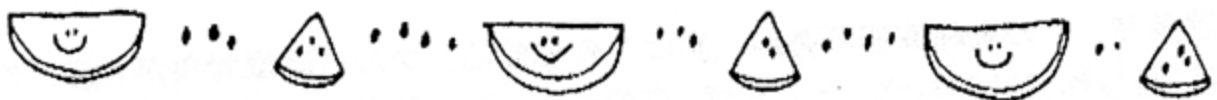


- 4 高血圧症は静かなる殺人者ですよ、症状がないからと言って 治療をやめようとししないでくださいね。
- 5 このあいだ、帯状疱疹ヘルペスの発疹が全くない状態で 診断治療を開始することが出来た患者さんがいらっしゃいました。そのかたは自分でいろいろ知識を得て、ご自分の判断で、来院されました。このようなケースはまれで、おそらく帯状疱疹後神経痛は発症しないで済むと思われれます。
- 6 病気は動く、つまり知らずのうちに、良くなったりわるくなったり、したがって、皆さんは、自分なりの対策、戦略を、ある程度持っていてください。  
難しいかな？ のちほど、きっとわかってきますよ。
- 7 病気は、単独では動かない、それが疾患であることもあり、環境因子のこともあり、素因のこともあり、遺伝子の影響のこともあり、心の動き、あるいはそれぞれが 一緒に動くこともあります。 そうです、病気を治す、という事は、たやすいことではないのです、 だから、医者だけではなならないのです。
- 8 最近、医療技術は着実に進歩していて、うまくすれば、とてつもないすばらしい治療を受けることが出来るようになってきました。ただし、それらを扱う人間の技術、心が未熟ではどうでしょう、今後。

<7月の院長の活動>

02/ (木) 松戸中央 RC、オンラインで参加

19/ (日) 松戸市小児夜間急病診療所 当番でしたが、患者さんがほとんど来られないので、院長はおやすみに、



暑い夏がやってきましたね！ マスクの辛い時期ですね。

今年の夏休みには、涼しいマスク作りにもうと、布地をネット注文をしてみました。

ここ数年、衣服用の冷感スプレーにお世話になっていますが、今、巻では振ると冷たくなるタオルというのもあるそうですね。

発熱中症にならないよう、お気を自愛下さい。



さいご  
七種

